

英語が得意な生徒ほど、問題演習してない！？

英語が不得意な生徒ほど、勉強時間が長い！？

中高生の英語学習に関するアンケート調査

中高生の英語学習に関するアンケート調査

□ トピック

- ・ 中高生のうち、英語が「得意」と「不得意」はそれぞれ約半分
- ・ 英語が得意でも不得意でも、学習時間としてはそれほど変わらない
- ・ むしろ高校生になると、不得意な生徒の方が2時間以上学習している割合は多い
- ・ 得意と不得意で大きく異なるのは、英語の学習方法（内容）
- ・ 英語が不得意な生徒ほど、「単語」や「授業の予習復習」「問題演習」など、試験勉強の要素が強い学習方法をとっている
- ・ 一方、得意な生徒ほど、「聞く」「書く」「読む」といった学習方法をとっている
- ・ 得意な生徒ほど、英語を一つの言語として捉え、言語習得を目指した学習をしているのではないか

<アンケート概要>

対象：日能研卒業生の中学1年生～高校3年生

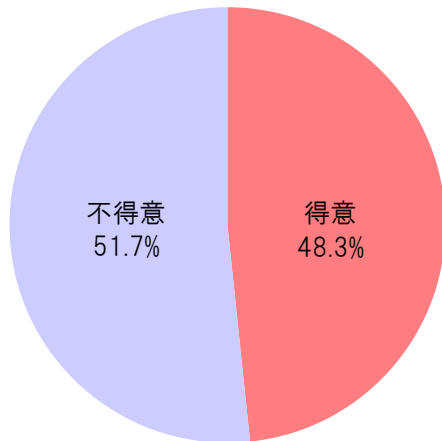
調査方法：インターネット

回答者属性：

学年	回答数
中学1年生	30
中学2年生	48
中学3年生	25
高校1年生	12
高校2年生	19
高校3年生	17
計	151

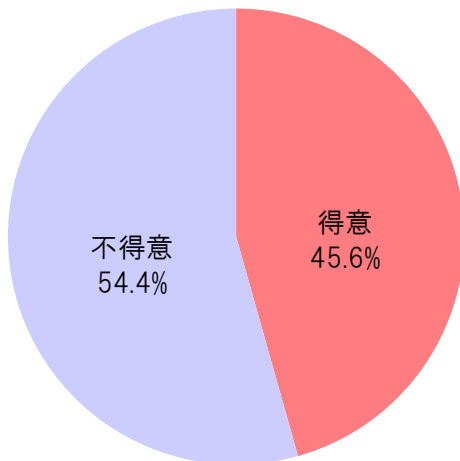
■ 中学生より高校生の方が、英語は得意！？中高生の、英語の得意・不得意
 アンケートの回答した中高生のうち、48.3%が「英語が得意」と回答した。一方で 51.7%は「英語は不得意」と回答した（図表 1）。

<図表 1：英語は得意ですか？（n=151）>

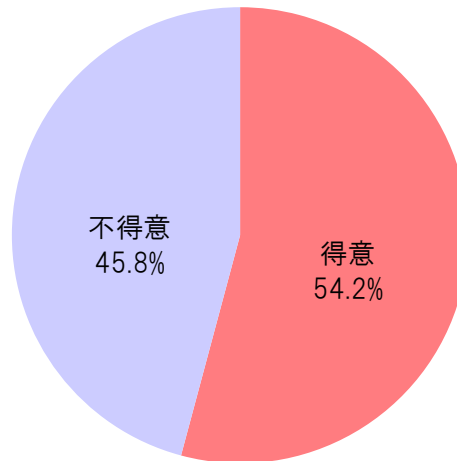


中学生と高校生で分けて見てみると、中学生では得意の割合が低くなり、高校生になると得意の割合が上昇した（図表 2・3）。

<図表 2：英語は得意ですか？>
(中学生・n=103)



<図表 3：英語は得意ですか？>
(高校生・n=48)

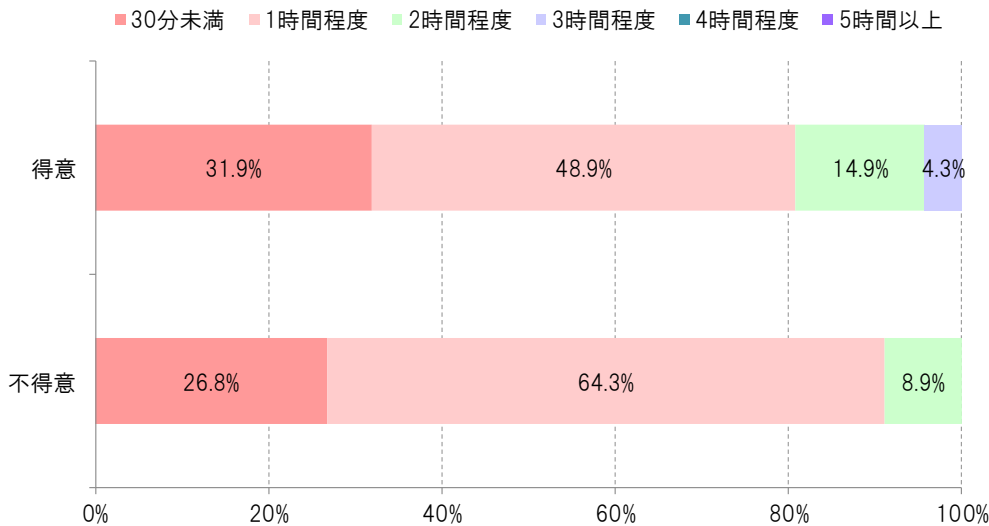


■ 高校生は英語が不得意な生徒程勉強時間が長い！？中高生の英語学習時間

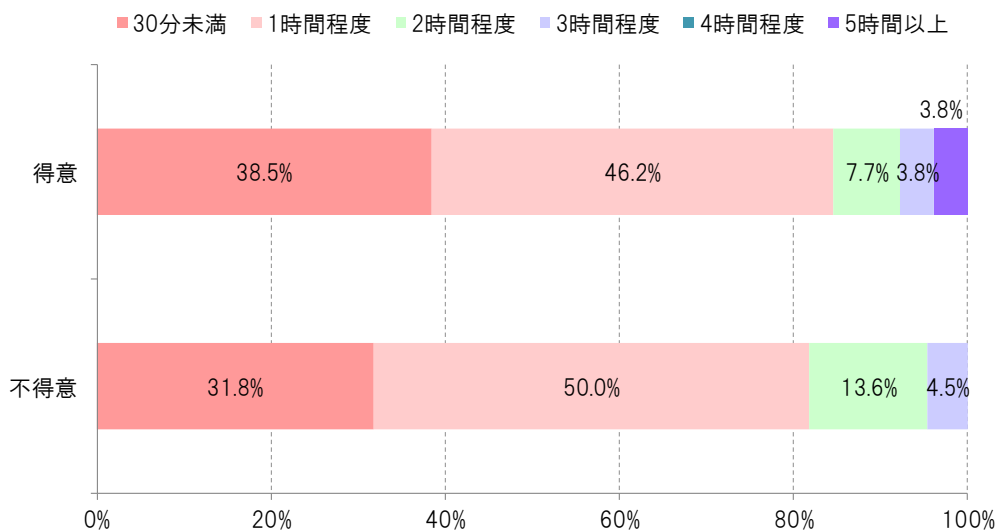
中高生の英語の学習時間では、中学生の得意・不得意、高校生の得意・不得意を関係なく、約8割が30分以内～1時間程度の学習を行っている（図表4・5）。中学生の得意な生徒の中で、約2割は2時間以上英語を学習している。英語が得意な生徒の中でも「長時間学習派」と「短時間学習派」とに分かれている。長時間の学習により英語を得意の保っている生徒と、得意だからこそ効率的に学習できている生徒がいるのではないのか。

また高校生においては得意な生徒より、不得意な生徒の方が2時間以上学習している割合が多かった。グローバル化の流れにより、文系理系に関わらず、大学受験における英語の比重は重くなっている。そのため、不得意な生徒ほど、長い学習時間でカバーしているのではないだろうか。

<図表4：中学生の英語の学習時間（得意・不得意別、n=103）>



<図表5：高校生の英語の学習時間（得意・不得意別、n=48）>



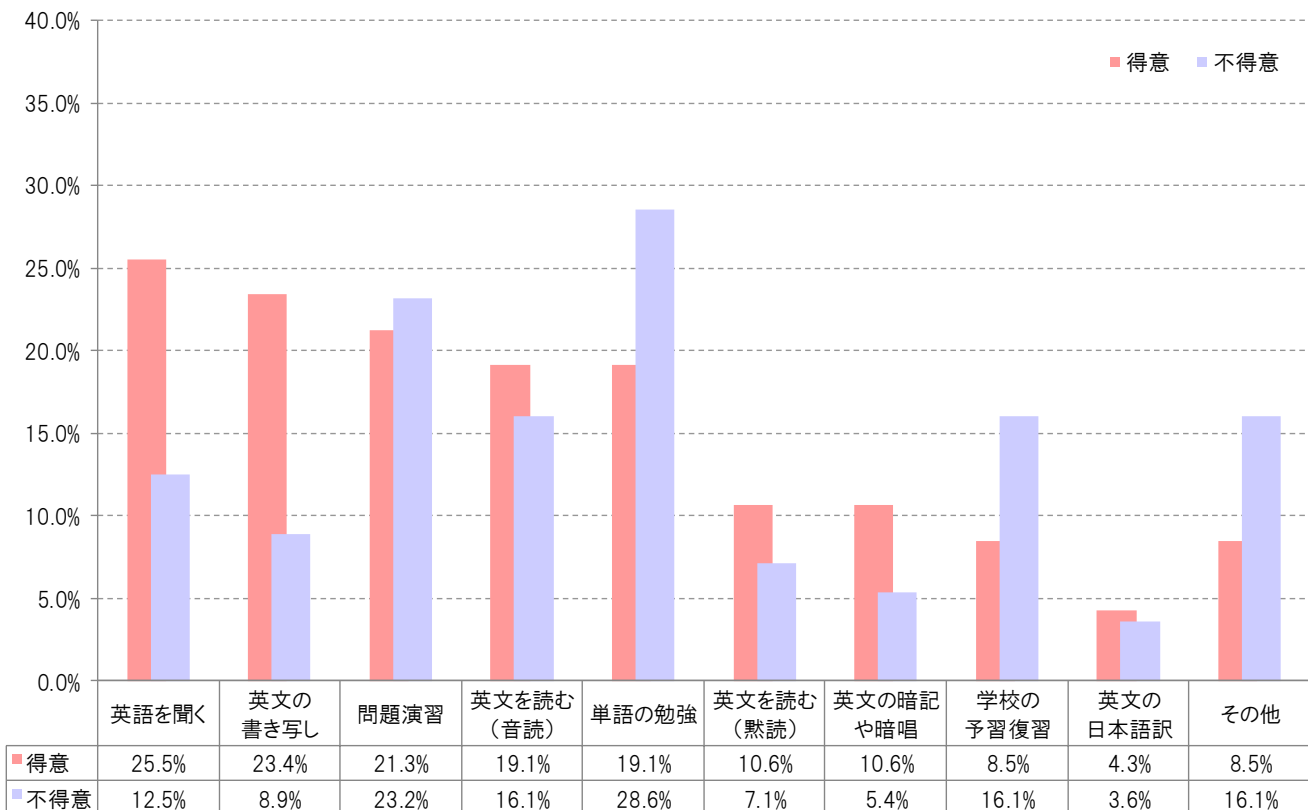
■ 英語が得意な生徒は、楽しみながら言語として英語を学ぶ！英語の学習方法
英語が得意な生徒と、不得意な生徒の間にある「学習の質」は何なのだろうか。
英語の学習方法について、中学生と高校生で分け、また英語の得意・不得意で分類しその結果をまとめた（フリーアンサーを項目化し、まとめた）。

中学生では、英語の得意な生徒は、不得意な生徒に比べ「英語を聞く」、「英文の書き写し」などの学習を意識して行っている生徒が多かった。また、「英文を読む（音読）」や「英文の暗記や暗唱」も、不得意な生徒と比べて多くなった（図表 6：赤い棒）。

一方、不得意な生徒については、「単語の勉強」「学校の予習復習」を行っている生徒が多かった（図表 6：青い棒）。

英語が得意な生徒においては、「聞く」「話す」「書く」など、英語を一つの言語として捉えて学習しているのに対し、不得意な生徒においては、「単語」「授業の予習復習」などの学習科目として捉えていると考えられる。

<図表 6：中学生の英語の学習方法（得意・不得意別、n=103）>

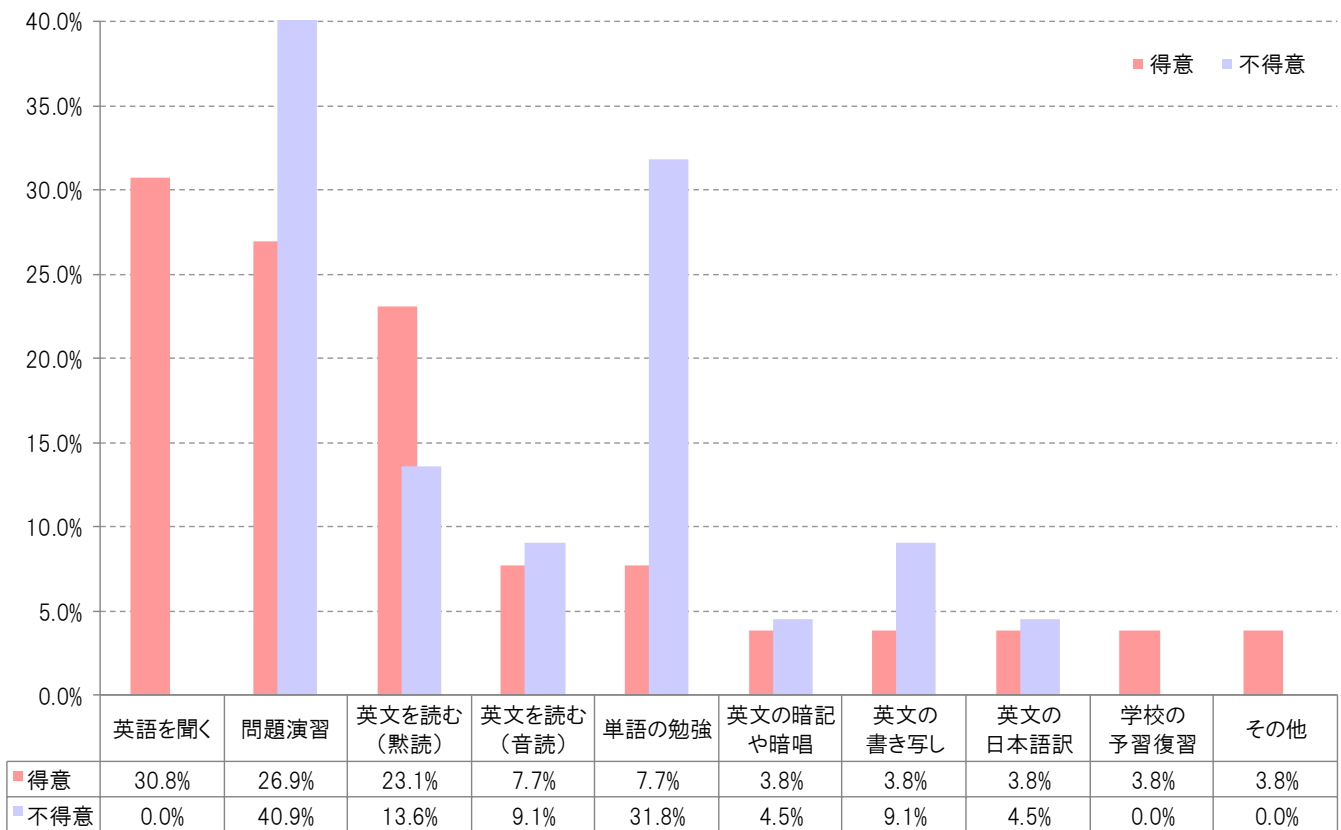


高校生では、英語の得意な生徒は、不得意な生徒に比べ「英語を聞く」、「英文を読む（黙読）」を意識して行っている生徒が多かった（図表7：赤い棒）。

一方で不得意な生徒については、「単語の勉強」、「問題演習」を行っている生徒が多かった（図表7：青い棒）。

中学生に比べると、高校生では大学受験が迫っているため、「問題演習」を学習方法として選択する生徒が多くなっている。ただ「英語が得意」と答えている生徒については、高校生になっても、中学時と同じように「聞く」「読む」などの語学の習得という視点での学習を行っているようだ。

<図表7：高校生の英語の学習方法（得意・不得意別、n=48）>



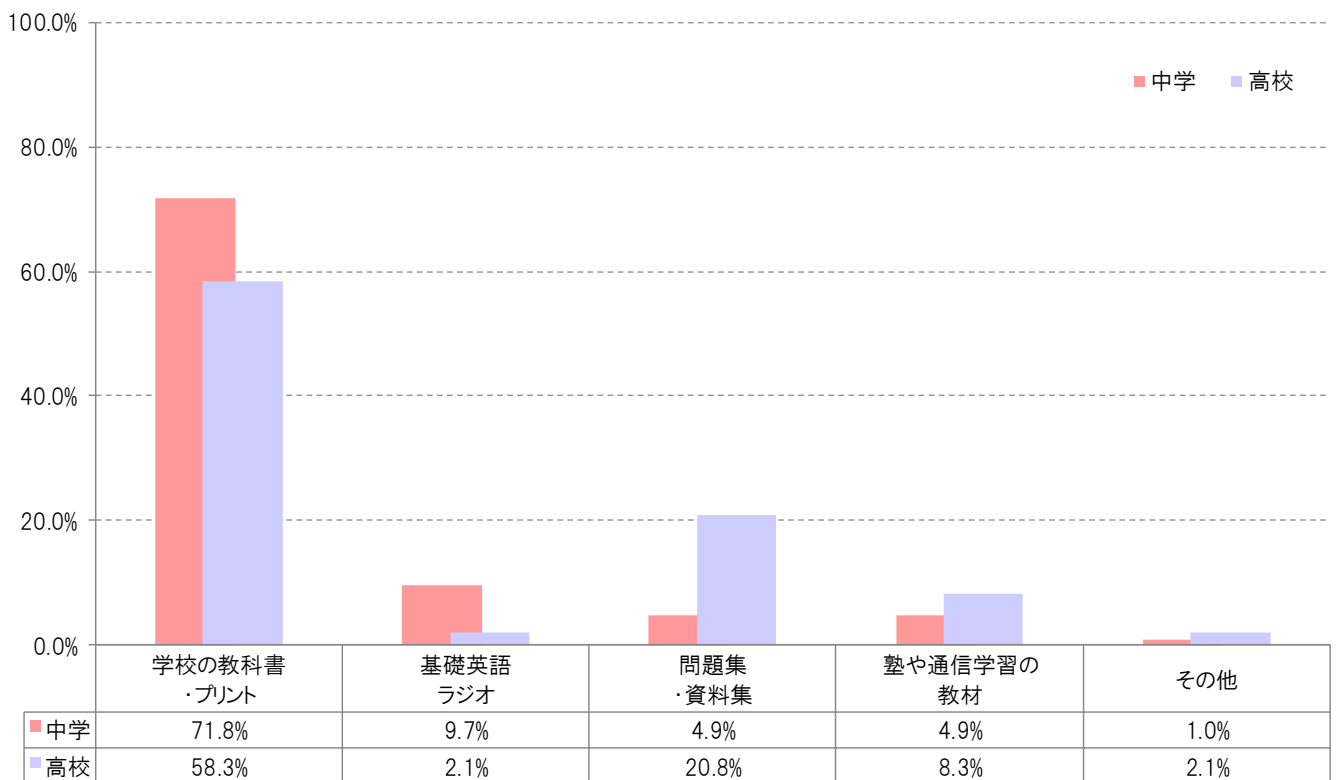
■ 中学生はラジオを、高校生は問題集を持って勉強する！英語の学習教材

英語を学習する際の教材について、中学生と高校生で比較すると、中学生も高校生とも多くの生徒が「学校の教科書・プリント」を使って学習していることがわかった（図表 8）。

また中学生は、高校生に比べて「基礎英語ラジオ」で学習している生徒が多かった。一方で高校になると「問題集・資料集」「塾や通信学習の教材」で学習する生徒が増えた。

中学生と比べ高校生になると、大学受験へ向けた試験対策のための勉強が始まり、市販の問題集や塾の教材などの問題演習が増えたのではないかと。

<図表 8：英語学習の際の教材（中学生・高校生別、n=151）>



調査結果に関するお問い合わせ

株式会社コアネット

TEENS RESEARCH 担当：奥田

TEL：045-914-3005 MAIL: info@core-net.net

URL：http://www.core-net.net/